

ブロモクリプチンメシル酸塩製剤の報告副作用

ダイト株式会社

製品名	ブロモクリプチン錠2.5mg「フソー」(販売開始:1992年8月)																									
有効成分	ブロモクリプチンメシル酸塩																									
報告副作用	<p>自社品でのPMDA報告副作用(重篤症例)につきましては下記の通りです。</p> <p>医薬品の適正使用の資料としてご利用下さい。</p> <p>2025年4月1日現在</p> <p>報告副作用 1件</p> <table><tr><th></th><th>報告年度</th><th>性別</th><th>年齢</th><th>原疾患等</th><th>被疑薬</th><th>有害事象</th><th>併用被疑薬</th><th>転帰</th></tr><tr><td>1</td><td>2006</td><td>女</td><td>60歳代</td><td>全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、精神症状</td><td>パーロミン錠2.5mg(旧販売名)</td><td>悪性症候群</td><td>ダントロレンナトリウム</td><td>回復</td></tr></table>									報告年度	性別	年齢	原疾患等	被疑薬	有害事象	併用被疑薬	転帰	1	2006	女	60歳代	全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、精神症状	パーロミン錠2.5mg(旧販売名)	悪性症候群	ダントロレンナトリウム	回復
	報告年度	性別	年齢	原疾患等	被疑薬	有害事象	併用被疑薬	転帰																		
1	2006	女	60歳代	全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、精神症状	パーロミン錠2.5mg(旧販売名)	悪性症候群	ダントロレンナトリウム	回復																		